

解答・解説

英検 2 級過去問 空所補充問題③

- 2003 年度第 3 回～2001 年度第 1 回
- 空所補充問題 [第 3 問(A)(B)] ×18 題

[A]

全訳 プラスチック製のお金

たいていの人は紙でできたお金にはなじみがあるだろうが、プラスチックでできたお金はどうだろうか。オーストラリアは紙幣製造技術において世界のリーダーの1つであるが、1988年に建国200周年を記念して初めてのプラスチック製のお札を製造した。その最初のプラスチック製の10ドル紙幣の後、オーストラリアはそれぞれデザインとサイズの違う他の新紙幣を順次導入していった。1996年までには、全てのオーストラリアの紙幣がプラスチック製になった。

プラスチック製のお札には、紙製のものに勝る2つの大きな利点がある。まず最初にその丈夫さが挙げられる。紙のお札は、特に濡れてしまったとき、すぐにすり切れてしまう。オーストラリアの紙幣はプラスチックで造られ、それから紙幣をより清潔で乾燥した状態に保つための特別のコーティングを施される。そのお札はまた裂くことがほとんど不可能なので、平均すると紙のお札よりも4倍から5倍長持ちする。やがてそれがすり切れたときにも、いろいろな有用なプラスチック製品にリサイクルすることができるのである。

プラスチック製のお金の第2の利点は、それをコピーすることが非常に難しいという点である。従来の紙のお札の場合、技術の新たな発展が偽札を作ることをより容易にした。光にかざさなければ見えるようにならないデザインを紙幣の中に入れるなどの強力な安全対策が導入されているものの、完璧に効果的というわけではない。一方プラスチック製のお札の主要な安全面の特徴は、お札の1つの隅にあるシースルーの部分だ。この「窓」の部分が、コピー機やコンピュータ技術を使って精密なコピーを作ることを不可能にしているのである。

世界の他の国々も、オーストラリアの先例に続き始めている。オーストラリアは、タイ、インドネシア、シンガポール、ニュージーランドといった多くの国々のためにプラスチック製のお札を製造している。またいくつかの国々は現在このようなお札を自前の設備を使って印刷している。その多くの利点から、いつかプラスチック製のお金が従来の紙のお金に完全に取って代わったとしても、驚くには値しないだろう。

26 解答 ②

解説 —— 段落の標準的な構成では（文章全体でも同じ）、まず最初に主旨を述べ、その後具体例が続く。この問題も空所後の具体例を読めば正解がわかる。wear out「すり切れる」、tear「裂く」も重要な表現。

27 解答 ③

解説 —— この段落の主旨は「プラスチック製のお札は紙製よりコピーが難しい」＝「紙のものはコピーを作ることがより容易である」ということで、その文脈に合った文になるよう正解を選ぶ。

28 解答 ①

解説 —— ここまでに述べられたプラスチック製のお札の利点、そして空所以後の具体例から、他国がオーストラリアに「続く (follow)」が正解になる。increase Australia's lead は「オーストラリアの優位を広げる」になるので不可。reject は「～を排する」、blame は「～を責める」の意。

29 解答 ④

解説 —— これまで述べられてきたプラスチック製のお札に対する「利点 (benefits)」が理解できれば、正解は、「(従来の紙のお金に) 取って代わる (replace)」だとわかるだろう。

[B]

全訳 王のために働く

エジプトのギザにあるピラミッドの中で最大のものは、グレート・ピラミッドとして知られている。これは約4,500年前にクフ王のために建造されたものだ。グレート・ピラミッドの中やどこか他の場所で発見された財宝や文書を研究することで、研究者たちは古代エジプトの支配者たちについて多くのことを知った。しかし最近まで、グレート・ピラミッドを実際に建造した人々についてはほとんど知られていなかった。

入手可能な最も昔の文書記録の中で、ギリシャの歴史家のヘロドトスは、10万人の奴隷がグレート・ピラミッドを完成させるために絶えず働いていたと主張している。しかしヘロドトスが生きていたのはそのピラミッドが完成してから何千年も後のことで、彼の文書は具体的な証拠ではなく人々の話や言い伝えに基づいていたのである。けれども、もっと最近になって、歴史家たちは、古代エジプト人が使うことのできた種類の道具を使って大きな石のブロックを動かしたり形成したりする実験を行った。これらの実験や

その他の計算に基づき、常時2万から2万5千人の労働者がそのピラミッドの作業をしていたと今は考えられている。

新しい研究では更に、ピラミッドの作業員がおそらく奴隷などでは全くなかったということが示唆されている。シカゴ大学の考古学者マーク・レーナーはギザにある作業員の村の遺跡を調査している。レーナーのチームは、ベットの基部であったと考えられる土の壇を発掘したが、奴隷に対してなら、ベットは快適過ぎると見なされたであろう。考古学者たちはまた多数の牛の骨も発見した。この発見は特に驚くべきものである。それはピラミッドの作業員たちが、当時はぜいたく品であった牛肉を食べていたことを示唆するからである。それに加えて、人間の骨の分析では、作業員たちには比較的良好な医療が与えられていたことが示された。これらのこと全てが、一般的に信じられていたこととは逆に、労働者たちに対する待遇が良かったことを示唆している。

30 解答 ③

解説 —— 第2段落以降から文章の最後までピラミッドを実際に建造した労働者のことについて書かれているので、この第1段落の最後の文はその導入をスムーズにする内容でなければならない。よって3が正解。

31 解答

①

解説 —— 空所の部分は **rather than** を使って **stories and legends** と対比されている。また、この文の後に具体的な実験について書かれていることから、正解は **(concrete) evidence** 「(具体的な) 証拠」であることがわかる。

32 解答

④

解説 —— この段落の主旨はピラミッド作業員が奴隷ではなかったということで、その文脈に合った内容にするためには、「ベッドは奴隷には快適過ぎる (**too comfortable**)」が正解。

33 解答

①

解説 —— 空所の前ではピラミッド作業員が食性面でいかに厚遇されていたかが述べられており、空所で始まる文も作業員に対する良い待遇を述べているので、**In addition** 「その上、さらに加えて」が正解となる。

[A]

全訳 忘れられた火山

今日では我々の住む惑星のある地域で起こったことが、どこに住んでいようとも、我々全員に影響を及ぼしかねないということを、我々は理解している。しかし過去においては、地球上のいろいろな地域で起こった出来事の人々が知ることは、今よりも難しかった。その劇的な例の 1 つが、1815 年に起こった、バリ島のそばの小さな島にある火山、タンボラ山の噴火である。

この大噴火は、25 マイル上空まで煙、ガス、塵を噴き上げた。しかしこの出来事のニュースがヨーロッパに伝わるまでは 7 か月かかり、そしてヨーロッパの人々にはすぐに忘れられてしまった。彼らは気づかなかったが、実は火山の爆発は世界中に塵をまき散らしていた。実のところ、1970 年代に地質学者がグリーンランドの氷の奥深くに火山灰層を発見するまで、このことが知られることはなかったのである。

今では科学者たちは、当時起こった多くのさまざまな現象が、この噴火と関係していたということを理解している。例えば、ヨーロッパと北アメリカの天候は、1815 年以降数年間異常に悪かった。イギリスの気温は 1816 年にはセ氏 2 度ほど下がった。アメリカ合衆国のいくつかの地域でも、大雪と霜のせいで農作物の不作が繰り返された。この悪天候は全て大気中の塵が原因だったのである。

火山の爆発は芸術と文学にさえ影響を与えた。作家のメアリー・シェリーは 1816 年の夏を、夫や友人たちとともにスイスで過ごした。涼しく雨の多い天候のため彼らは屋内にとどまることを強いられ、そこでお互いに恐ろしい話を聞かせ合った。このことがシェリーの有名な小説『フランケンシュタイン』につながったのである。一方、有名な芸術家である J. M. W. ターナーは、この時期に彼の最も美しい夕陽の絵の何枚かを描いている。こうした美しい夕陽は、地球の反対側の火山の爆発によってまかれた塵に、日光が反射した結果なのだという事は、彼には知るよしもなかった。我々は必ずしも気づかないかもしれないが、遠くかなたの出来事が我々の日常生活に驚くべき影響を与えることもあるのだ。

26 解答 ④

解説 —— 前文では Today、そして空所を含む文では In the past, however と、過去と現在を対比する内容になっていることに注目。connection を選択すると、この文脈に合った内容になる。

27 解答 ①

解説 —— 空所を含む文が、it was not until ... that 節「…になって初めて～した」の構文であることに気づくことがポイント。known を選択すると、前段落で述べていることと矛盾のない内容になる。

28 解答 ③

解説 —— 前文で当時の多くの現象が噴火と関連していたと述べ、空所後にその具体例が記述されているので、For example を選択すると前後がきちんとつながるようになる。

29 解答 ②

解説 —— ここまでに、地球上のある場所での出来事が遠く離れた地域に影響を及ぼし得ること、そのことに多くの人が気づかなかったことが書かれているので、aware を選択して「我々は気づかないかもしれないが」にする。

[B]

全訳 柔軟性のあるエネルギー

我々の使用する電力の大部分は、石炭・石油・ガスといった化石燃料を燃焼させることによって発電されている。しかし、この発電方法には多くの問題がある。このような燃料の量は限られており、またこれらを燃やすことは環境に対する大きなダメージの原因となる。このような理由から、これまでしばらくの間、代替エネルギー源を使った実験が行われてきた。この中で最も有望なものの1つが、太陽である。太陽エネルギーは、ソーラーパネルを使うことによって電気に換えることができるのだ。

今日、ソーラーパネルを家の屋根やオフィスビルの屋上で見かけることがますます多くなった。ソーラーパネルは汚染の原因となることなく安価に電気を供給するので、人気が出てきている。しかしソーラーパネルにもいくつかの欠点がある。ソーラーパネルは硬く、平らで、しかも大変重いのだ。少量の電力を発電するのにもかなりの大きさのパネルを必要とするので、このようなパネルが使えるのは大きく平らな表面を持つ建物に限られる。ところで、こうした問題を克服することのできる、新しい種類の柔軟なソーラーパネルを開発したと、カナダのある会社が発表している。この新しいパネルは非常に多くのシリコン微小球を使い、それらを2枚の薄いアルミニウムのシートではさむことによって作られている。最終製品は布のような素材で、ブルージーンズを作るのに使われるデニム地のように見える。

この素材には、これまでのソーラーパネルと比べていくつかの利点があると、開発した会社は言っている。この素材は柔らかく、従って簡単に曲げることができるので、建物の曲面や不規則な形を覆うのに使うことができる。さらには、この素材ははるかに軽いので、これを支えるために建物を特に強化する必要がないのだ。この素材はまた作るのがより安くすむ。開発企業は、これが携帯電話や携帯型ステレオのような商品に電力を供給するのにさえも使用されうると考えている。この新しい素材には、疑いなく大きな将来性がある。

30 解答 ①

解説 —— 第1段落の前半で従来の燃料の問題が指摘され、第2段落の前半では太陽発電の利点が述べられている。このような文脈から、太陽が代替エネルギー源として promising 「有望である」ことがわかる。

31 解答 ①

解説 —— 空所の前の文でソーラーパネルの人気と利点について書かれているが、空所を含む文では disadvantage 「欠点」があると述べている。従ってここでは逆接の意味を持つ however が正解である。

32 解答

4

解説 —— 従来のパネルは硬くて重いことが問題の原因なので、新しい柔らかいパネルは問題を「克服する」(overcome)、という文意が適切。1 の replace 「取って代わる」に引っ掛からないよう注意。

33 解答

3

解説 —— 空所を含む文の主語 it が新型パネルであること、空所の後に and thus easy to bend と続いていること、そしてこれまで述べられた新型パネルの特徴を考えれば、正解は soft 「柔らかい」であるとわかる。

[A]

全訳 コーヒー・タイム

イングランドは、お茶を飲む文化で長い間有名である。しかし、イングランドはまた、ヨーロッパで最初にコーヒーを出したいくつかの場所の1つでもあった。事実、ロンドンのコーヒーハウスは、17世紀末から18世紀初頭にかけてイングランドの社交界とビジネス界の中心であったのだ。

イングランドにコーヒーが初めて登場したのは1610年、東インド会社が輸入を始めた時のことである。その黒くて苦い飲み物が人気を得るのには何年もの歳月がかかったが、1670年までにはコーヒーハウスはロンドンのあらゆるところで見つけることができるよ

うになった。これらのコーヒーハウスは人々が出会い、情報を交換するのに便利な場所になった。多くのコーヒーハウスは、政治や医療、科学といった話題を話し合うことに関心のある人々を引きつけた。商売もまた、よく話される話題であった。商売人たちは自分の事務所を持たないことがよくあったので、コーヒーハウスが取引を行う場所として使用されたのである。

初期のロンドンのコーヒーハウスの中には、後に違った分野で有名になったものもあった。例えば、イングランドで最も有名な保険会社、ロイズ・オブ・ロンドンは、その歴史を1687年に開店したロイズ・コーヒー・ハウスまでずっとさかのぼってたどることができる。このコーヒーハウスの客の多くが船長だったので、ロイズは海運業の中心となり、後に長い航海に出る船のための保険を提供し始めたのである。コーヒーに関連するもう1つの有名な機関がロンドン証券取引所で、ここは元々、株仲買人が会合の場としていた、ジョナサンズというコーヒーハウスだったのだ。

しかし、イングランドのコーヒー・ブームはそれほど長くは続かなかった。東インド会社がコーヒーの代わりに中国からの茶の輸入に専念することを決めた時に、それは終焉を迎えたのである。その結果、茶はコーヒーよりもかなり安くなり、そしてこのことが、イングランドの人々がお茶を飲むという有名な習慣を発達させることを促進した、要因の1つであったのだ。

26 解答 ②

解説 —— 空所の後の but に着目し、この接続詞が結ぶ2つの節が逆接になるよう、popular を選択する。すなわち、「人気が出るのに時間がかかったが、ロンドン中でコーヒーハウスが見つけられるようになった」とする。

27 解答 ③

解説 —— 空所を含む文中の also に注目。前文で、コーヒーハウスに集う人々が politics, medicine, science について話し合ったとあるので、business もまた「よくある (common)」話題であった、とする。

28 解答 ①

解説 —— この段落の前半で、コーヒーハウスに起源を持つ機関の例として Lloyd's を挙げているので、Another famous institution that is connected with coffee 「コーヒーに関連するもう1つの有名な機関」とする。

29 解答 ④

解説 —— 空所の前の that が関係代名詞でその前の factors を修飾する働きをしていることと、空所以降の〈動詞＋目的語 (English people) ＋不定詞 (to develop ~)〉の構文を見抜くことが、正解を得るポイント。

[B]

全訳 良いことも度を過ぎると…

自分を清潔に保つことが健康を維持する助けとなるということは、広く認められていることである。例えば、抗菌洗剤は、病気の原因となる細菌を殺すのに極めて効果的で、多くの家庭で使用されている。しかし、私たちの身の回りをますます清潔にしようという努力が、実際には私たちの健康を害するかもしれないということに、懸念を抱くようになってきている科学者もいるのである。

100年ほど前までは、人々はかなり不潔な環境で暮らしていることが多かった。それから徐々に、水や食べ物、そして家庭をより清潔にするための新しい方法が発見された。このことが人々の全般的な健康状態の向上へとつながった。しかしその後、驚くべきことに、先進国におけるアレルギーのレベルが上がり始めたのである。例えば、ぜん息を患っている子どもたちの数は、30年前のそれと比べるとはるかに多い。こうした増加は環境がますます清潔になることに関連しているのではないかと考えている科学者たちもいる。子どもたちは、生まれた時からいろいろな身近な細菌に曝^{ばく}されると、体がこうした細菌への対処の仕方を学び、かくして病気を避けることができるのだということが、研究によって示されている。後になるまでこのような細菌と接触することのない子どもたちは、病気に対する抵抗力がより弱くなり、アレルギーをより起こしやすくなるかもしれないのだ。

科学者たちは確かに、不潔であることはいいことだと言ってはいいものの、子どもたちをいくらか土や細菌に曝すことは有益でありうると、彼らは提唱している。ドイツ、スイス、オーストリアでの子どもたちについての最近の研究では、農家に暮らす子どもたちは町に住む子どもたちよりもアレルギーの問題が少ないということがわかった。これは田舎の子どもたちのほうが、毎日の生活の中で土や動物に触れることが多いからだろう。ほとんどの子どもたちにとって、汚れることは健康に対する重大な危険性を与えないので、特に心配する必要はない。子どもたちが外で遊び回った後に手足などを洗う際は、高価な抗菌洗剤よりはむしろ、普通の石けんと水のほうが、長い目で見れば最も健康的な選択であろう。

30 解答 ③

解説 —— 段落の前半で清潔にすることの大切さと抗菌洗剤の効果を述べた後、However 「けれども」と続いていることに注目。また、concerned that 「～を心配して」に合った内容の that 節を作ることもポイント。

31 解答 ②

解説 —— 空所の前の逆接の接続詞 But に注目する。surprisingly を選択すると、「清潔さが増し健康状態は全般的に向上した。しかし、驚くべきことに、アレルギーのレベルが上がった」となり、But の前後がうまくつながる。

32 解答 ②

解説 —— ここでの正解のポイントは、空所の前の thus 「このように、従って」だ。この文の and より前の内容がわかれば、その後は「このようにし

て病気を避ける (avoid) ことができる」となることがわかる。

33 解答 ①

解説 —— rather than は「～よりむしろ…」」。これまでの文章の中で、過剰な清潔さの危険性、子どもをある程度細菌に曝したほうがいいことが述べられていることが理解できれば、正解は得られる。

[A]

全訳 標準時の父

スタンフォード・フレミングは1827年スコットランドで生まれたが、若い頃にカナダに移住し、そこで鉄道技師としての道を歩み始めた。彼はカナディアン・パシフィック鉄道という会社の技師長になるまでに出世し、カナダを横断する最初の鉄道路線の計画の責任者となった。フレミングが自分の作業を始めた頃、人々はまだ自分たちの地域の時間を空の太陽の位置に従って決めていた。しかし、人々が列車を使って、より長い距離をより短い時間で旅するようになると、このことが問題になった。それぞれの地域の現地時間が何時になるかを知ることが難しいために、全国規模での鉄道のスケジュールを作り出すことが困難だったのである。

この問題を解決するために、フレミングは1878年、「標準時」と呼ばれる新しいシステムを提案した。このシステムは、カナダのいかなる地域のみならず、世界のいかなる地域でも、人々が正確な時刻を知ることを可能にした。フレミングのシステムの下、世界は24の時間帯に分けられ、同じ時間帯の中では全ての時計が同じ時刻に設定された。人々が1つの時間帯を出て別の時間帯へと移動するときは、単に自分の時計を1時間ずらせばよいのだ。日本やニュージーランドといったいくつかの国は、単一の時間帯に含まれるが、一方でアメリカ合衆国やオーストラリアといった他の国々にはいくつかの異なった時間帯が存在する。フレミングの努力のおかげで、標準時間帯の国際システムは1885年に公式に使用が始まり、そして今日もなお使用されている。

フレミングは今、「標準時の父」として記憶されている。確かに、今日の国際旅行と世界的ビジネスの時代には、彼が発明した標準時システムのない生活を想像することは不可能である。

31 解答

②

解説 —— 太陽の位置に「従って」時刻が決められたので、according to を選択。owing to 「～のために」、in spite of 「～にもかかわらず」、in case of 「～の場合は、用心に」

32 解答

④

解説 —— 空所の後の目的語 railway schedules に注目。全国的な鉄道のスケジュールを「新たに作り上げる」の意味で create を選択。

33 解答

①

解説 —— To solve this problem は不定詞の副詞的用法で「問題を解決するために」。続く主節の「フレミングが標準時を提案した」理由を考えると、solveを選択することで意味がつながるようになる。

34 解答

解説

③

—— この場合の cover の意味は「(ある範囲)を含む、に適用される」である。「ある国は1つの時間帯の中に含まれる」の意味になる。この節と次の節を対比させる接続詞 while 「一方で」にも注目しよう。

35 解答

解説

②

—— 通常文章の最後の段落は、それまでの論点をふまえた「まとめ」のパートになる。この文章でも、これまでの話の流れから、標準時なしの生活を想像することは「不可能」= impossible だということがわかる。

[B]

全訳

長く守られた秘密

1967年、洞窟探検に興味のある18歳のアメリカ人、ランディ・タフツは、アリゾナ州南部にあるウェットストーン山脈のそばの岩場で、幅25センチのすき間を見つけた。最初彼は、それはただの浅い穴で、どこにも通じていないと考えた。しかし後に彼が友人のゲイリー・テネンにそれを見せけている時に、その内側から暖かくて湿った風が来るのを感じた。その2人の友人は、そのすき間に腹ばいで入っていくことにした。その内側で彼らは驚くべきものを発見した——美しい数々の洞窟がつながったものが、ほぼ4キロメートルにわたって広がっていたのだ。これらの洞窟は現在、それが発見された土地の所有者にちなんで、カーチナー洞窟と呼ばれている。

これらの洞窟は「生きている」洞窟である。それはどういう意味かというと、その中の鍾乳石やその他の岩石形成物が、天井から落ちてくる水によっていまだに成長しているということなのである。この洞窟の自然美が人間によって破壊されることを恐れて、タフツとテネンはこの場所を14年間秘密にし続けた。最終的に彼らは、この洞窟を保護する最良の方法は、アリゾナ州政府を説得してこの地域を州立公園にすることであるという結論に達した。政府がその計画について検討している最中に、一般の人々がその洞窟のことを知ってしまうのを防ぐことは容易ではなかった。しかし、政府がその土地の所有者から洞窟を買い上げることに合意するまで、ついに秘密は守られ続けたのだ。

多大な時間と費用がかかったものの、最終的にカーチナー洞窟州立公園は1999年に一般に公開された。洞窟を生きた状態に保つために必要な自然のバランスが乱されることのないよう、多大な注意が払われた。例えば、洞窟の涼しさと湿り気が保たれるように、照明は発生する熱が最小限になるように設計された。今日では、年間およそ20万人の観光客がカーチナー洞窟を訪れる。

36 解答

解説

①

—— 通常 lead to で「(場所・方向に)通じる、至る」だが、anywhere が副詞なので to は不要。この文の後に But later, と逆接の接続表現が続いているので、その論理展開に沿った内容になるようにする。

37 解答

解説

③

—— 受動態の be destroyed は「破壊される」。Fearing that は分詞構文で「(that 節以下の内容を)恐れて」と主節の内容の理由を説明していることに気づくことが、正答を得るキーポイントである。

38 解答 ②

解説 — persuade A to do 「～するようAを説得する」の構文である。それぞれの動詞の意味だけではなく、どのような構文をとるかを学習することと、文中の不定詞の働きに着目することが、大切なポイントである。

39 解答 ①

解説 — until は「～までずっと」。この文が前文の内容に対して逆接の But から始まっていることから、「洞窟のことを知られないようにするのは困難だったが、合意に達するまでは秘密を守り通した」という論理展開になることに注目しよう。

40 解答 ④

解説 — For example は「例えば」。空所の前が「多大な注意が払われた」と一般的な表現で、その後で「照明の熱が最小限に抑えられた」と具体策が述べられていることが理解できれば、正答が得られる。

[A]**全訳 ゴミ埋め立て場のガス**

多くの社会が直面している大きな問題は、毎年産出される増加一途のゴミの処理方法である。アメリカ合衆国のように広大な空間のある国では、このゴミを処理する安上がりな方法は、ゴミ埋め立て場、つまりゴミを地中に埋めることのできる広い場所に捨てることである。その場所がゴミで満杯になってしまったら、そこは土で覆われる。すると新たに見出された場所がゴミ埋め立て場としての役割を担うことになり、すべての過程が一から再び始められる。

しかしゴミ埋め立て場の抱える問題点の1つは、時の経過とともに、埋められたゴミがガスを発生させ始めることである。これらのガスは悪臭を放つばかりでなく、有毒な場合もある。そのうえ、状況によっては、ガスが火災や爆発を引き起こすことさえある。ガスを抑え込む方法の1つは、それを燃焼させることである。しかし、そうしてガスを処理できても、それには多くの費用がかかるし、エネルギーの浪費でもある。

このような理由により、行政はガスのより良い活用法を探し始めた。例えば多くの工場や学校が、近くのゴミ埋め立て場から出るガスを建物の暖房や温水用に利用し始めた。ロサンゼルスでは、ゴミ埋め立て場からのガスはバスやトラクターを走らせる燃料に変換されている。他の場所では、そのガスは発電に用いられている。ロードアイランド州のある発電所はゴミ埋め立て場のガスを使って、1万7000世帯の需要を満たすに十分な電気を産み出している。

これらの試みの成功を受けて、ますます多くの自治体がそれに追随し始めている。こうして私たちの日常生活から出るゴミは、環境に優しいやり方でエネルギー生産に利用することができる。

31 **(4)**

解説 ——— **serve as** で「～の役割を担う」という句が成立する。**the whole process** とは、新たに埋め立て場となった場所に徐々にゴミが投棄され、やがて満杯となり、最後に土で覆われるまでの全過程のこと。

32 解答 **(1)**

解説 ——— 前文に「悪臭を放つばかりでなく、有毒な場合もある」とあり、この文の後半でも「火災や爆発を引き起こすことさえある」と否定的な内容の情報が続いているので、**Moreover**「そのうえ、さらに」が最適。

33 解答 **(4)**

解説 ——— 句動詞を選ぶ問題。文意から **look for**「～を探す」が適切。**give up**「～をあきらめる」、**pull up = stop**、**send for**「～を呼びにやる」

34 解答 **(2)**

解説 ——— **meet the needs of**「～の需要を満たす」。この **meet** は **satisfy** の意味。頻出語なのでしっかり覚えておきたい。**household**「世帯」

35 解答 **(3)**

解説 ——— 空所直後の **them** は **these experiments** を指す。実験の成功が相次いだので、自治体 (**community**) はこぞってその模倣を始めたわけである。

[B]

全訳 深海からの防護物

人々は屋外で日光を楽しむ。しかし戸外を愛することにはいくつかの危険が伴う。オゾン層は薄くなりつつある。ということは、太陽に肌をさらすことがますます危険になっているということを意味する。皮膚ガンの患者数の増加がその結果だ。今私たちは、太陽の危険な影響から自らを守るうえで、より良い方法を見つける必要がある。

太陽による被害を減らすのに大きな役割を果たす日焼け止め商品が、現在多く市場に出回っている。それぞれの商品には、太陽の紫外線からどの程度守ってくれるものなのかを示す日焼け防止指数(SPF)の数値が表示されている。日焼け止め商品を製造しているメーカーは、最大レベルのSPF値を持つ日焼け止めの開発にしのぎを削っている。

現在、海洋から採取した成分を用いた新しい日焼け止め商品の開発が進行中である。この日焼け止めには、カリフォルニア湾の深海から採集したテルムス・テルモフィルスというバクテリアが含有されている。このバクテリアはいかなる温度にも適応する能力を持ち、また大変に熱吸収に優れているので、海底で生き続けられる。このバクテリアには、肌が紫外線の影響から回復するのに役立つ化学物質が含まれていることがわかっており、将来のスキンケア商品に使用するのに理想的なものである。この化学物質を他の複数の化学物質と結合すると、現在入手できる日焼け止め商品よりはるかに強い保護力を発揮するはずである。もしこの試みが成功すれば、それは深海に存在する物質の活用という点で重要な進歩となるだけでなく、皮膚ガンの予防という点でも非常に大きな前進となるだろう。

36 解答 ①

解説 ——— 前文で日光に肌をさらすことの危険性に言及しており、その結果、皮膚ガンが増加すると考えればよい。この文は次の文と同意である。As a result, cases of skin cancer increase. case「患者(patient)」

37 解答 ③

解説 ——— 空所の次の that が目的格の関係詞で、空所には先行詞が入る。causes「～を引き起こす」の目的語として適切なのは damage「被害」。currently「現在」、(be) on the market「市場に出ている」

38 解答 ③

解説 ——— 日焼け止め商品の SPF レベルが高ければ高い程売れる。

39 解答 ④

解説 ——— making 以下は結果を表す付帯状況の分詞構文。文頭の They は These bacteria のこと。have been found to contain と現在完了の受け身形が用いられているが、「(分析の結果)～を含んでいることがわかった」と考える。chemical「化学物質」、ultraviolet rays「紫外線」、extreme「極端な」、vague「あいまいな」

40 解答 ②

解説 ——— 従属接続詞の選択問題。主節の動詞に will be と未来の助動詞が使われているので、従属節も未来の内容だと推測できる。「もし～すれば」の If が正解。attempt「試み」、huge = very great

[A]

全訳 熱を実感する

夏の間、田舎より大都会の方がしばしば暑いようであると気付いたことがあるだろうか。調査によれば、暖かい日には都会の空気が場所によっては3度から4度周辺地域より暑くなる。科学者はこの現象を「ヒートアイランド効果」と呼んでいる。この余分な熱は都会の大気汚染を閉じこめるために、問題になることもある。さらに、人々はエアコンをより使う傾向にあり、そのことがエネルギーの浪費を招くと同時に大気温をいっそう上昇させている。

木や植物は影を提供して、大気をさますことで気温を下げている。しかし、都会では植生がほとんどないので、このことがより起きにくくなっている。代わりに、建物や、歩道、そして道路が太陽の熱のほとんどを吸収している。この熱によって大気の温度は夜になっても上昇し続けるのだ。

ロサンゼルスはいかに都市が徐々に都会のヒートアイランドに変わっていったかを示す一例である。1934年の夏、ロサンゼルスにまだ多くの果樹農園があった頃、記録された最高気温は摂氏36度であった。都市が成長し、植生が建物や道路に置き換わっていくに連れて、気温は上昇し、1990年代までにはしばしば摂氏40度を超えるまでになった。スモッグの程度はこれらのより高い気温と共にひどくなった。今日、ロサンゼルスエアコン使用量の増加は費用に換算すると年間およそ1億ドルにもなっている。

幸運にも、都市は気温を下げる措置を講じることができる。研究者はより熱を吸収しない素材で道路や建物の外壁を覆うことを勧めている。より多く木を植えることも役立つだろう。研究者はコンピュータを使って、約3度ロサンゼルススを冷やすことでスモッグのレベルが下がり、大気の質を大きく改善することになると予測した。加えて、エアコンの使用を抑えることは、エネルギーの節約に大きくつながるだろう。

31 解答

③

解説 —— 都会の大気汚染を閉じこめてしまうことは良くないので、problem「問題」が正解。relief「救援」とはならない。choice「選択」、purpose「目的」も不適。

32 解答

②

解説 —— thisの内容は「植生によって気温が下がること」である。都市には植物がほとんどないので、このことは起こらない。否定の選択肢は less だけ。

33 解答

④

解説 —— 文意から都市が肥大化するに連れて、植生が建物に置き換わっていくことがわかる。be replaced by「～に取って替わる」。restore「修復する」、delay「遅延させる」、deny「否定する」

34 解答 ②

解説 —— 「気温を下げる措置を講ずることができる」と言っているので、文修飾の副詞 **Fortunately** = *It is fortunate that* ~ 「～は幸いである」を選ぶ。**Additionally** 「その上」、**Personally** 「自分としては」、**Exactly** 「正確に」

35 解答 ④

解説 —— **In addition**、とあるので、前文と同様なことが予想できる。エネルギーの節約につながることといえば、エアコンの使用を抑えることは常識、**decrease** 「減少」

[B]

全訳 コンピュータの会話

今から100年ほど前から、何千もの短編物語や小説、そして映画で人造人間、すなわち人間のように動き話することができるロボットが大きく扱われてきた。しかし、ここ数十年にわたる驚くべきコンピュータの発達にもかかわらず、ほとんどの専門家は現実にもそのような人造人間が開発されるにはさらに数百年かかると思っている。

しかし、現在イスラエルに本部を置くあるコンピュータ会社は、そのような人造人間の創造をずっと早めるかもしれない新しい方法を発表した。この会社の主任研究者ジェイスン・ハッチンスは、人間の言葉を話せるようになるコンピュータを開発した。このコンピュータは英国のコンピュータの先駆者であるアラン・チューリングの考えに基づいたソフトウェアを用いている。このソフトウェアによって、ちょうど人間の子供のように訓練と経験を通してコンピュータが会話を学習できるようになっている。

しかし、このコンピュータは人間と同じように本当に知的なのだろうか。チューリングによれば、人間に対してそれが人間であると信じ込ますことができればそのコンピュータに知能があると考えられる。もし私たちがこの定義に従うならば、ハッチンスによって開発された新しいコンピュータは間違いなく知能が高い。2001年の2月にハッチンスの会社はコンピュータの会話の転写を言語学者に提示した。専門家達はコンピュータの会話と平均15か月の子供の会話との違いを識別することができなかった。

この会社はおよそ10年後にはコンピュータが大人のように話すことができると予想している。社長によれば、そのような話すコンピュータはものすごい勢いで普及し、およそ50年以内にハリウッド映画にあるような人造人間が我々の日常生活の一部になると言っている。

36 解答 ①

解説 —— 人造人間の出現にはまだ、数百年かかるとあるので、**despite** = *in spite of* 「にもかかわらず」を選ぶ。**besides** 「その上」、**due to** ~ 「～のせいで」、**thanks to** ~ 「～のおかげで」

37 解答 ③

解説 —— 人造人間がこれまで考えられていたより早くできそうなことを文脈から判断する。**bring + O + C** 「O を C の状態にする」**much closer** 「ずっと早く」この **close** は時間的に近いということ。**much** は比較級を強めている。

38 解答

①

解説 —— in the same way that 「(that 以下) と同じように」「人間の知能が高いのと同じようにコンピュータも」となる。for the purpose of ～ 「～のために (目的)」, on the grounds that ～ 「～を根拠に」

39 解答

②

解説 —— differences between A and B 「A と B の相違」 人間の子供とコンピュータの転写能力の差に言及している。

40 解答

③

解説 —— 前後の文脈から判断する。become (increasingly) common 「(著しく) 普及する」 just like those の those は androids を指す。

[A]**全訳** グリーン・カー

何千年もの間、人々はものを作るために草や他の植物を利用してきた。ところが、最近、植物を基にした素材が驚くような新しい方法で利用されている。最も重要で新しい用いられ方の1つが車の製造分野に見られる。

植物から作られている素材は多くの利点を持っている。たぶん、最も大きな利点は素材の生物分解性にある。現在、アメリカでは1千万台以上の車が毎年廃棄されている。これらの車に使われている素材の多くは再生利用されている。ところが、ガラス、プラスチック、あるいはゴムのような部品は土の中に埋められている。このことは環境にとって有害になりかねない。

それとは対照的に、植物を基に作られた素材が埋められた時、それらは最終的には昆虫や他の小さな生物によって、ちょうど他の植物のように食べられてしまう。それらはただ単に再び土の一部になるのである。ドイツや英国のような国々では、政府が車メーカーに古くなった車の部品を土に埋めるのにかかった費用に対して税を課している。しかし、生物分解性素材の場合には、税金が課せられていないので、それらが急速に普及してきている。あるドイツの車メーカーは、ここ5年で植物からなる素材の利用を3倍に伸ばした。

これらの新素材は他の利点も持ち合わせている。それらはガラスやゴムといったような素材より安く作れるのである。それらはまた軽量で、車の燃費を向上させることにもなる。次の段階は車の車体のために、植物を基にした素材を利用する方法を見つけることだろう。多くの国の科学者たちは、現在の車の車体にとって替われるだけの強度を備えた生物分解性素材の開発のため、今一生懸命研究を重ねている。環境に対する関心が高まるにつれて、間違いなく、車を作る草や他の植物の利用もまた盛んになるだろう。

31 解答 (2)

解説 —— 後続の文章でガラスなどの部品は土に埋められているとなっているので、他の部品は再利用されると考える。be recycled「再生利用される」

32 解答 (1)

解説 —— ガラスやプラスチックなどが土に埋めても消えないままで環境に有害であるのに対して、植物を基にした素材は昆虫などに食べられ土に返るとなっており、両方の素材が対比されている。よって By contrast「対照的に」となる。In contrast とも言う。As a result「結果として」、Likewise「同様に」、Moreover「更に」

33 解答 (3)

解説 —— in the case of ~「～の場合」。生物分解性素材には税金が課せられないので、その素材が普及したと考える。become popular「広まる」。serious「深刻な」、dangerous「危険な」、rapid「急速な」

34 解答 (4)

解説 —— 新素材は他にも有利な点があるのだから、have advantages「有利である」を選ぶ。take advantage of ~「～を利用する」と混同しない

ように。interest「利子」、expense「費用」、trend「傾向」

35 解答

③

解説 —— 接続詞 As は「～につれて」という意味。concern for the environment「環境への関心」が主部、grows「大きくなる」が述語動詞。

[B]

全訳 現代の本の誕生

何千年もの間、人間はペンや筆のようなものを使って言葉を書き留めてきた。しかし、現代の印刷方法が発明されたのは、ほんのおよそ500年前であった。この方法は更にもっと前にあった技術の数々を寄せ集めたのだ。例えば、1041年という昔に、中国人は印刷するために粘土で作られた活字を使っていた。ところが、この印刷技術はさほど当時は影響を及ぼさなかった。おそらく、その主な理由は、書き言葉で使われる文字があまりにも多かったので、印刷のために活字を作りそして使うことは困難であり、また時間の浪費にもなっていたからだった。

対照的にヨーロッパでは、15世紀のはじめまでは、本は人の手によって写されていた。これには時間がかかり、ほんの僅かしか出来上がらなかった。教育への需要、そして多くの本への需要によって、多くの様々な人々がより安く本を作るための方法を探し求めていることがわかる。おそらく、これを成功させた最初の人物は1450年代に本の印刷を始めたドイツの職人、ヨハネス・グーテンベルグであった。たぶん、グーテンベルグが成しえた最も重要な貢献は、アルファベットの金属製の活字を安く作る方法を開発したことである。彼の新しい方法は急速に他のヨーロッパ諸国に広まり、そして、現代の印刷技術の歴史の幕を開けたのだった。

これらの初期の本は当時の人々にとってはなおかなり高価であったけれども、それらは手書きした本に比べ、はるかに安価であった。それらは、また、ずっと正確でもあった。この時期から始まった印刷された本の急速な広がり、科学、歴史、そして文学を含めあらゆるヨーロッパ文化に計り知れない影響を及ぼした。実際、印刷本なしの現代を想像することは不可能である。

36 解答

④

解説 —— However があるので、影響があまりなかったと考える。文意から impact「衝撃、影響」だとわかる。at the time「当時」

37 解答

③

解説 —— 後ろに in があるので、succeed in ~ ing「～するのに成功を収める」

38 解答

②

解説 —— the most important contribution that Gutenberg made「グーテンベルグが行った最大の功績」という意味で、ここまでが主部を形成している関係詞節である。make a contribution to ~「～に貢献する」

39 解答

②

解説 —— they were much cheaper ... とは内容が逆接的なので、Although「～だけれども」が正解。

40 解答

④

解説 —— it is ... to ~ という形式主語 it の構文。印刷技術を持たない現代の世界は想像がつかないのだから、impossible「不可能な」が正解。

[A]

全訳 ポップコーンの収益

長年にわたって、アメリカ合衆国では映画館を訪れる人々の数が減少している。主な理由の1つはビデオやケーブル・テレビの普及である。また別の理由として、コンピュータ・ゲームなどの新しい形の娯楽の開発があげられる。結果として、今日多くの映画館で収益をあげるのが難しくなっているのである。

しかしながら入場券の売り上げ以外に、別の重要な財源を映画館の所有者が持っていることはあまり知られていない。それは観客に売るスナック類である。映画館はスナック類をたいていとても安く仕入れ、観客に売る時は非常に高く売っているのである。観客に売る時の値段は、たいていは仕入れの時の5倍以上の値段か、時にはもっと開きがある。ポップコーンは、アメリカの映画の観客の間でもっとも人気のあるスナックだが、元の値段の約25倍で売られているのである。観客数が減少しているにもかかわらず映画館が、営業を続けていくことができるのは、まさにこれらのスナック類からの多大な利益のおかげなのである。

映画館はスナックの売り上げに頼っているが、同時にスナック製造会社も映画館に頼っているのである。結果として、これらの会社は競って観客と映画館の所有者の両方に魅力的な新しい製品を創り出すことになる。例えば、ある会社では、包み紙のいらぬ新しいキャンディーを開発した。このことは観客が帰ったあとに映画館に残る紙屑が大幅に減少することを意味している。それにもかかわらず、依然として、もっとも人気のあるスナックは観客ばかりでなく映画館の所有者にとっても、とても収益の上がるポップコーンなのである。

31 解答 ④

解説 —— 前の2文で言われている、ビデオやケーブル・テレビ、コンピュータ・ゲームなどの発達についての内容と、この文の関係を考えると、原因と結果を表している。goal「目標」、purpose「目的」、cause「原因」

32 解答 ②

解説 —— 「入場券の売り上げ」以外に重要なものが、次に述べられている「館内で売られているスナック」であるので、source of income で「財源」が適切。apart from「～は別として」

33 解答 ③

解説 —— 「観客数の減少」と「映画館が依然として商売を続けていける」こととの関係を考えてみる。despite (=in spite of)「～にもかかわらず」が正解。この文は it ... that の強調構文である点にも注意しよう。

34 解答 ④

解説 —— 直後の to がヒント。「新しい製品」が「観客と映画館」の双方に売れなくてはならないので、appeal to「～に(魅力を)訴える」が適切。stick も stick to one's place「地位にしがみつく」のように to と結びつくが、ここでは文意と合わない。

解説 —— 過去分詞 **left** が直後から答を修飾。「包み紙不要のキャンディー」が映画終了後にもたらすものは、より少ない **trash** 「ゴミ、紙くず」。

[B]

全訳 動物の感情

動物は人間と同じ種類の感情を持っているだろうか。犬や猫などのペットを飼っている人々の多くは、動物が感情を持っていると考えるだろう。多くのペットは飼い主が家に戻ってくるとうれしそうに見えるし、彼らが外出すれば心配そうに振る舞うように見える。飼い主が死ぬと、その死を悲しむ動物の話もたくさんある。しかし科学者は、動物

が人間と同じ感情を持ちうるということに疑問を抱いてきた。

たいていの科学者は動物が基本的な恐れ、喜び、悲しみの感情を経験することは疑われないものの、悲しみや喜びなどを感じるかという点については、2つの主な理由により確信は持っていない。1つはこれらの感情が、ある程度の思考を前提にしているためであるが、動物は人間のように物を考えることができないと、たいていの科学者は信じているのである。もう1つの理由は、動物がそのような感情を経験していることを示すのに実験を用いることが大変に難しいということである。

しかしながら今日では、この伝統的な科学的姿勢は疑問視されている。動物の行動を研究する多くの科学者は、実際に動物が極めて複雑な感情を持っていると主張する。例えば、長年にわたり象を研究しているジョイス・プールは、象は明らかに仲間が死ぬと悲しむと感じると主張する。他の科学者も野生動物における幸福感や愛情の実例までも報告している。

さらに人間と動物の脳を研究した科学者は、人間が悲しみや興奮などのある種の感情を持つと、特別な化学物質が脳の中で放出されることを示した。これらと同じ化学物質が、動物が悲しげに見えたり、興奮したりする時にも見つかっているのである。したがって、化学物質が脳の中で放出されているとき、動物も人間と同じ感情を経験していると考えるのが理にかなっている。

解説 —— 「動物は人間と同じ感情を持っている」という主張に対して、この文は、それと反対の考えを述べていることが逆接の接続詞 **however** の使用からわかる。**doubt** 「疑う」が適切。**agree** 「同意する」、**guess** 「推測する」、**insisted** 「主張する」はそうした論理の流れに矛盾する。

解説 —— 「動物が喜びや悲しむを感じるかどうか」について確信が持てないこと、理由が、これより後で2つ述べられている。第2文の **One**、第3文の **The other** に注目。**options** 「選択肢」、**means** 「手段」、**directions** 「方向」

解説 —— 「動物は喜びや悲しみは感じない」という第2段落の主張に対して、第3段落では、最新の研究ではそれと反対の証拠が挙げられていることを述べている。(36)と同様 **however** が使用されていることに注目したい。

question「疑問視する」が適切。accept「受け入れる」、create「創り出す」、prove「証明する」

39 解答

①

解説 —— furthermore「さらに」の意味。第3段落の主張を補強している。however「しかしながら」、nevertheless「それにもかかわらず」は反対の主張をつなぐ言葉。therefore「それゆえ、従って」は結果を述べるときに用いる。soより軽い表現。

40 解答

②

解説 —— reasonable「筋の通った」の意味。この文は、文章全体の結論である。これまでの英文とこの文は同じ論理の流れになっている。従ってfoolish「ばかげた」、unique「ユニークな」、familiar「よく知られた」はいずれも不適切。

[A]

全訳 エデン・プロジェクト

イギリスは多くの美しい庭園で有名である。ところでイギリスの科学者はイングリランド南西部コーンウォールに新しいタイプの庭園を造った。エデン・プロジェクトと呼ばれるこの庭園は8万本以上の植物が入るように設計された一連の温室を持つという点で、独特なものである。これらの植物は地球上の熱帯と温帯から集められたのである。

エデン・プロジェクトの主催者はニコラス・グリムショー・アンド・パートナーズの建築家を選んでこの珍しい温室を設計させた。温室は透明でガラスよりもずっと軽い特殊な表面で覆われた巨大な鋼鉄製のドームでできている。ドームがいくつか組み合わさって、場所によって長さ数百メートル、幅100メートルを超える1つの建造物を形作っている。

温室は異なる気候を維持する2つのグループに分けられる。1つのグループは南アメリカ、アフリカ、アジアの熱帯地方からの植物でいっぱいである。このグループのドームは背の高い木が自由に伸びることができるように十分大きいものとなっている。ドームのもう一方のグループにはアメリカ南西部、南アフリカ、地中海などの温帯地方からの植物がある。温室の外は3つ目のグループでチリ、ヒマラヤ山脈、そしてもちろんコーンウォールといったさらに涼しい地方の植物のための、屋根のない場所となっている。

エデン・プロジェクトの主な目的は、人々が植物の重要性や人間との関わりについて理解する手助けをすることである。しかし主催者はこの場所を教育的であると同時に楽しいものにしよう努力している。温室に加え、レストランやビジターセンター、そして特別なイベントを催すことのできる円形劇場がある。主催者はエデン・プロジェクトがやがては世界で最も有名な庭園の1つになると確信している。

31 解答 ③

解説 — because 以下、ものすごい数の植物を収めることのできる温室があるという理由からこの庭園は unique 「独特な」庭園と言える。official 「公式な」、basic 「基本的な」、available 「入手可能な」

32 解答 ②

解説 — 文の主語は These plants で、これらの無数の植物が熱帯や温帯地方から「どうされた」結果、この庭園に収められているのかを考えてみる。collect 「収集する」が正解。release 「解放する」、protect 「守る」、reject 「拒絶する」

33 解答 ①

解説 — この段落の第1文に2つのグループに分けられるという記述があり、第2文に1つ目のグループは tropical areas, 第4文の2つ目のグループの説明には warm-temperature areas とある。よって両者の違いは climates 「気候」である。

34 ④

解説 — S + V + C の文型で, S (The chief ... Project) is (=) C (to help ... humans) という関係が成り立つ。人々に植物の重要性を理解させることがプロジェクトの「何」なのかを考えてみる。aim 「目的」, faith 「信頼」, wisdom 「賢明」, source 「源」

35 ④

解説 — 直前に教育的であると同時に楽しい場所という記述があり, この文ではその具体例が述べられていると考える。in addition to 「～に加えて」, compared with 「～と比較して」, in spite of 「～にもかかわらず」, contrary to 「～に反して」

[B]

全訳 飛行恐怖症

アメリカの人口の25%にもものぼる人が飛行恐怖症にかかっている。不安感自体は当然のものであるし, それは危険な状態のときに人の命を救うことさえある。しかし, 飛行中に不安を感じても何の役にも立たないし, 健康的でもない。この恐怖感のせいで全く飛行機に乗ることができない人も多くいる。アメリカでは飛行機が重要な交通手段なので, このことは生活する上で不便である。

多くの人は筋肉弛緩法, 深呼吸, メンタル・トレーニングなどの自制手段によってうまくこの恐怖心を処理している。より進んだ技術を使うプロの療法士に依存する人もいる。1つの方法として患者の思考パターンを変化させるものがある。患者と療法士は, 例えば車で旅行するよりも飛行機で旅行するほうがどれだけ安全かを議論したりする。

もう1つの方法は「さらし療法」と呼ばれる。数週間の間, 恐怖感を克服できるまで患者に恐怖感をだんだんと与えていく方法である。例えば, 患者は飛行場へ行って人の乗っていない飛行機に何度も乗ってみるようなことをする。恐怖感が大部分克服できるようになると, 最終的には患者は実際の飛行機に搭乗するのである。だが, この方法は多くの時間と費用を要する。

しかしながら最近では, バーチャル・リアリティ技術によってもっと容易に飛行恐怖

症を克服できるようになった。実際の飛行機に乗る代わりに, 患者は飛んでいる感覚を体験するためのコンピュータ・シミュレーションを使う。患者は離陸, 着陸, そして, さまざまな気象状況で飛行機に乗っている時と全く同じ感覚を得られる。この治療法はうまくいくことが多く, 他の療法よりもお金がかからない。

36 ②

解説 — The feeling of anxiety itself 「不安感そのもの」が人間にとってどうなのか, 前後の文脈から読みとろう。natural 「当然な」

37 ④

解説 — 文の前半で「アメリカでは飛行機は重要な交通手段なので」と理由が述べられている。this は「飛行恐怖症」を指している。inconvenience 「不便」, unimportance 「ささいなこと」, independence 「独立」, unreality 「非現実性」

38 解説

③

—— プロの療法士による治療法の1つが述べられている部分。次の文にその具体例「車よりも飛行機のほうが安全だと話し合うこと」がある。

39 解説

①

—— a patient might ... times 「患者は、空港まで行き、誰も乗っていない飛行機に何回も乗り込む」の部分は、患者に徐々に恐怖感を体験させる治療法の具体例となっている。

40 解説

②

—— コンピュータ・シミュレーションを使って、飛行感覚を「どうする」のかを考えると experience 「体験する」が選べる。avoid 「避ける」、report 「報告する」、describe 「描く」